

令和2年度「高校から取り組む人口減少対策プロジェクト事業」
高校生が考える人口減少対策プログラム

1 プランの名称

「三戸みらい創生プロジェクト」

2 学校及び地域の現状

三戸高校は定員割れの状態が続き存続の危機にある。また三戸町は青森県内の他の市町村と同様に、少子高齢化が進んでいる地域である。特に人口の社会減は顕著であり、その理由として地域に核となる産業がないことが挙げられる。

3 具体的な目標

高校生が地域の抱える課題を主体的に見つけ出し、その解決方法を探究するだけでなく、地域社会と連携をとりながら実践的な取組をすることにより、郷土愛を深め地域の発展のために貢献する意欲を育む。

4 内容・実施方法

(1) 大学訪問

地域活性化に取り組んでいる青森公立大学および岩手県立大学を訪問し、どのような研究と実践を行っているかについて学ぶ。(対象生徒：普通科2学年49名)

(2) 地域の課題発見ワークショップ

八戸学院大学から教員を招き、地域の課題を見つけ出すワークショップを行う。(対象生徒：普通科2学年49名)

(3) 先進地域訪問

高校生が地域活性化活動に取り組んでいる岩手県久慈市を訪問し、その活動について学ぶ。(対象生徒：普通科2学年希望者約20名)

5 評価方法

生徒の自己評価および有識者(大学教員)からの外部評価によって行う。

6 令和2年度年次計画

7月 大学訪問

9月 地域の課題発見ワークショップ1回目

1月 先進地域訪問

2月 地域の課題発見ワークショップ2回目

7 事業担当者

| | |
|------------------------|-------------------|
| 事業担当(総括) 職・氏名・校務分掌等 | 教諭 ・ 岩岡 洋 ・ 2学年担任 |
|------------------------|-------------------|